

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年2月4日

提出区分	実績	整理番号	8	課題区分	C
横断的な課題	コロナ下においても選ばれる安心・安全・持続可能な観光地域づくりを推進				
地域重点政策	2 四季折々に訪れ、北アルプスと安曇野の自然を満喫できる観光地域づくり				北アルプス地域振興局
実施機関	北アルプス地域振興局		担当課	所属	商工観光課
事業名	北アルプス山麓観光大学開催事業		電話	0261-23-6523(直)	
			E-mail	kitachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	地域の観光事業者等を対象とした学習の機会である観光大学を開催し、観光事業者及び関係者等のスキルアップの機会とする。			
	現状と課題	新型コロナウイルスによって地域の観光業が疲弊する中で、観光需要復活のカギを握る「女性」に焦点を当て、新たな視点からの観光振興について地域の観光事業者等と議論することにより観光業復興の契機とする。			
	内容 (変更後の内容)	1 日時:令和3年11月9日(火) 13:30~16:00 2 会場:大田市文化会館 大ホール 3 内容 ○基調講演「観光における女性の重要性～観光客側と接客側の双方から考える」 (株)JR東日本企画ソーシャルビジネス・地域創生本部 SPC営業企画部長 村山 香苗氏 ○パネルディスカッション コーディネーター 長野県議会スキー索道振興議員連盟 会長 宮澤 敏文氏 パネラー① 村山 香苗氏 ② ラネージュ東館 支配人 塩島 和子氏 ③ 創舎わちがい 若女将 深谷 枝里子氏 ④ ANAホリディインリゾート信濃大町くろよん パティスリーシェフ 白澤 朋子氏 ⑤ 長野県観光部観光誘客課長 丸山 裕子 4 参集範囲 一般県民(観光地づくりに興味をもつ者)、市町村議会、市町村観光・農政担当課、市町村観光・農政団体(観光連盟・観光協会・農業委員会等)、商工会議所、商工会員、観光・宿泊事業者、北アルプス山麓ブランド認定事業者、大北農業協同組合 等			
事業期間	令和3年11月		～	令和3年12月	
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	第6回北アルプス山麓観光大学	・基調講演 ・講演 ・パネルディスカッション	87,290	基調講演者、パネラー 報償費:68,600円 使用料:18,690円	
合計		87,290			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	地域の観光関係者の参加者数		100名	115名	● 達成
	参加者アンケートにおける満足度(満足・やや満足の割合)		70%	82%	○ 一部達成
					○ 未達成
事業実績・成果	(事業実績) 宿泊、索道、飲食などの事業者や行政、議会など地域の観光振興に携わる者115名が参加。 ○基調講演(村山 香苗氏) ○パネルディスカッション(村山氏、丸山課長、塩島和子氏、白澤朋子氏、深谷枝里子氏、コーディネーター宮澤敏文氏議)				
	(事業の成果) 基調講演、パネルディスカッションを通じて、観光における女性の重要性を接客側、誘客側の双方から地元観光事業者らに提示することができた。 テーマに関連して食の重要性が浮かび上がったことにより、今後の当地域において「食」を活用した観光振興に取り組むこととなった。 昨年に引き続き「北アルプス山麓ブランドの日」イベントと共催の形をとったことにより、より多くの参加者を得ることができた。				
今後の方向性	当地域の基幹産業の一つである観光業の振興のため、今後も時宜にあったテーマを選定し、開催したい。				